

令和6年度 ケアラー支援専門員設置事業  
【横須賀地域研修会】アンケート結果報告

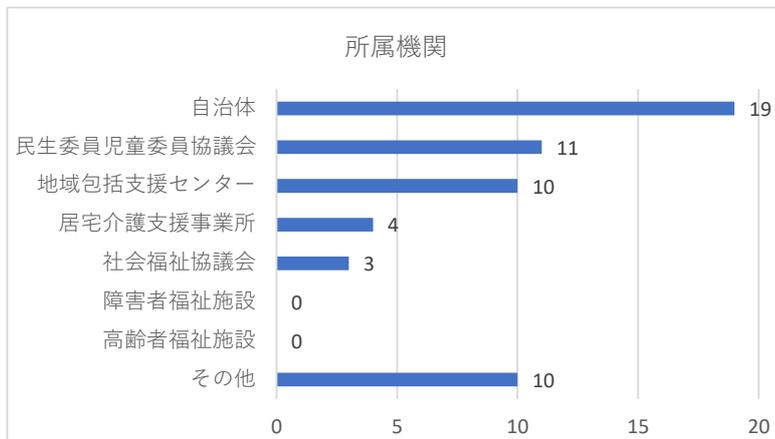
【開催日時】2025年1月27日（月）13：30～16：00  
【開催場所】横須賀市立総合福祉会館 5階ホール

【参加者数】58名  
【回答数】55  
【回答率】94.8%

1. 所属機関

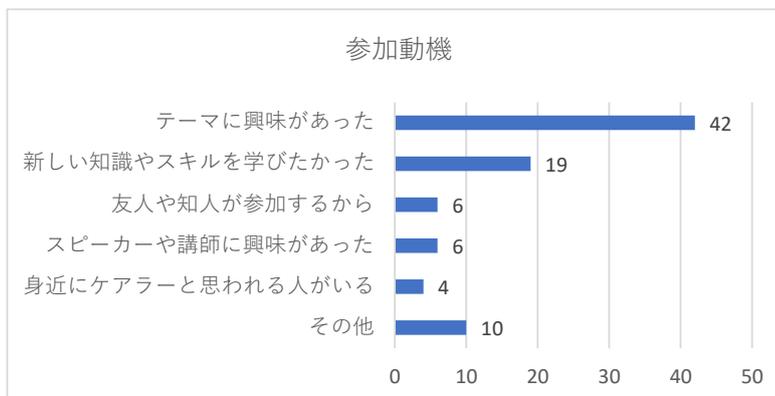
表1：所属 ※重複回答あり

所属機関名	人数	(%)
自治体	19	33%
民生委員児童委員協議会	11	19%
地域包括支援センター	10	18%
居宅介護支援事業所	4	7%
社会福祉協議会	3	5%
高齢者福祉施設	0	0%
障害者福祉施設	0	0%
その他	10	18%
計	57	100%



2. 参加動機 ※複数回答あり

項目	人数	(%)
テーマに興味があった	42	48%
新しい知識やスキルを学びたかった	19	22%
スピーカーや講師に興味があった	6	7%
友人や知人が参加するから	6	7%
身近にケアラーと思われる人がいる	4	5%
その他	10	11%
計	87	100%



3. 研修内容

① 基調講演

ケアラーの現状と課題について

横浜創英大学 看護学部 教授 横山恵子氏

【参考になった：50名 どちらともいえない：3名 参考にならなかった：1名 期待した内容と異なった：0名 無回答：1名】

- ・初めて聞く知識（ヤングケアラーの定義など）もありとても勉強になりました。
- ・資料がとても分かりやすかったです。家庭のことを外に話すことはかなり難しいこと、しかし外とつながることがいかに大切かわかりました。
- ・こどもはなかなかSOSの発信ができないため、周囲の大人がくみとりながら働きかけながら見守り体制を作っていけるといいと思いました。
- ・家族会の大切さ、サポートが大事。これから自分の出来ることを考えてみたいと思います。
- ・ケアラーとは何かを具体的に知る事が出来ました。様々なケアラーがいる事を考える事が出来ました。
- ・ヤングケアラーや8050問題やいろんなことが問題にあげられているが、SOSの理解を深めなければならないと感じた。
- ・ケアラーに対する考え方を改めて認識しました。

- ・ケアラーだけでなく親子まると支える視点が印象に残った。ケアラーが女性が多いという話、弱い立場が担うということ、周りが関わると良いと思った。
- ・支援に関わる立場として、つい当事者に重点をおいてしまいがちだが、連携は大切だと感じた。
- ・家族支援における姿勢は、民生委員でもすぐに取り入れられると感じました。ずっと言われていますが、“孤立させない取り組み”を充実させていくことは、大きな課題と感じます。
- ・改めてケアラーについて話を聞く機会をもてたのは良かった。ケアラーの多くが女性と聞き、“はっ”となる場面もあった。

## ②-1当事者の体験談

こどもびあ やまゆ氏

【参考になった：47名 どちらともいえない：1名 参考にならなかった：0名 期待した内容と異なった：1名 無回答：6名】

- ・当事者の方のお話を聞くにはとても貴重な機会でした。お話がリアルで、現実を見ることができた気がします。
- ・転機となる3人の人との出会いがあってよかったと思います。私もヤングケアラーの子どもたちにとってそのような役割をはたしたいと思います。
- ・家族の状況は中にいる人しかわからないため、当人が声をあげ、人に話をする勇気をもつ大切さを学んだ。
- ・ヤングケアラー当事者の方のお話を聞いたのは初めてでした。貴重なお話ありがとうございました。ネガティブにならない距離、ということが印象に残りました。ピアサポートの大切さを改めて知りました。
- ・人が育っていく大切な時期に親の様子を見ながら、色々感じながら子どもなりに自分の役割を考えているのだと感じました。それを否定せず、どうやって支えていけるか業務の中で生かしていきたいです。
- ・ヤングケアラーのことは何回か聞きましたが、体験をとおして話され、本当にすごい人生を送ってきたんだと感心しました。大人になってもそれを活かされて生きていられることが感動しました。
- ・家族分離を父母や子どものためになることとして転機をあげられていて自分の職業として本人たちの希望を理解しつつ寄り添い支えることができる支援をしたいと思いました。
- ・ヤングケアラー本人の気持ちに寄り添いつつも、家庭(親)まるとケアしていくことが重要であると知りました。そのためにも、多職種で協働の必要性を改めて感じた。
- ・自分の家族に対する心の動き、また発信の仕方が制度としてあるといいと思いました。
- ・相談を受ける立場として、ありのまま話ができるような関係性を築けると良いのではないかと、これからも支援していくことを考えたいです。
- ・業務の中で頼ることを「あきらめている」方を見かけます。繋がれるきっかけを作ればと思いました。
- ・ケアラーとしての体験と専門職としての対応を、どちらもリアルにうかがうことができとても貴重な体験談でした。
- ・なかなかこどもの立場での話を伺えないので大変参考になりました。
- ・とても貴重なお話、ありがとうございました。周囲のサポートを含め関わりの大切さを実感しました。「きづき、大切ですね！」
- ・実際に自分が関わる対象も精神障害の方も多く、外から見る家庭と違うことが多くあった。もう少し話を丁寧に聞きながら関わりを深めていくことが必要と感じた

## ②-2当事者の体験談

認知症の人と家族の会 神奈川県支部 副代表 三橋良博氏

【参考になった：54名 どちらともいえない：1名 参考にならなかった：0名 期待した内容と異なった：0名】

- ・生きた言葉で困難な体験をポジティブに話をしていただき大変参考になった。
- ・ご苦労がよくわかりました。自分が同じ状況になった時の対策が少しわかりはじめました。「多職種協働によるチームケア」の重要性を感じました。
- ・私の義母が認知症になってしまったので、他人事ではないと思いつつ涙を流しながら聞いていました。
- ・素敵なお友人と近隣の方に支えられてきて、話をしたことからはサポートを受けることができたというのがすごく良い体験談でした。認知症がもっと身近なものになってほしいですね。
- ・つらい経験だったと思います。私自身も障害児を支えるケアラーとして親亡きあとのことも今のうちから考えていく必要性を感じました。
- ・本人だけでなく、それを支える家族も当事者としてサポートが必要なのだと感じました。
- ・認知症を恥ずかしいと思わず、周りに伝えることが大事と知りました。辛いことはかきじゃなく、喜びや楽しさ希望はあるとわかりました。「忘れても心は生きている認知症」とても心に残りました。
- ・認知症への偏見と誤解は非常に強いものと思います。第三者から見ると不愉快だからと思われる。家族の体験談を聞くことで認知症になったからといって、人でなくなる訳ではない。全く別人になるわけではない事を認識出来ました。
- ・三橋さんの話は、今、実際に認知症の介護にあたっている方に希望をあたえると感じました。実体験に基づく話は説得力があります。
- ・徘徊の大変さ、よくわかりました。SOSネットワークの重要性を受け入れる立場としても身をひきしめていきたいと思っています。
- ・男性の介護者、増えてきています。男性は頑張ってしまうことを教えていきます。
- ・温かな支援の輪が自然と形成されていたというシーンが印象的でした。虐待予防などでも生きてくる視点かと思いました。ぜひ今後もご体験を周知させていただきたいと思いました。
- ・「自分で何とかしなきゃ」には限界がある。外に助けを求められる環境・サービス作りが大切であると感じました。認知症については、私自身も正しく理解しなければと痛感しました。
- ・認知症、地域を巻き込んだケア、大切と思った。頑張りすぎないケア。
- ・認知症の大変さ、周りの方のサポートが重要と感じた。
- ・身近に認知症の奥様をしっかり支えているご主人がいます。どんな言葉がけしたいか迷っておりましたが、肯定的、プラス発想なふれあいを学ばせて頂き、お二人の笑顔になるふれあいをしたいと思いました。

## ③意見交換

【参考になった：45名 どちらともいえない：3名 参考にならなかった：0名 期待した内容と異なった：1名 無回答：6名】

- ・時間が短かったです。
- ・それぞれが様々な体験の中で培ったお話を聞いて良かった。
- ・良いメンバーに恵まれ、みなさんからいろいろな情報をいただきました。
- ・行政、支援の方と同じグループだったためどう支援をしたら良いか、むずかしいと云うようなご意見が多くありました。
- ・ケアラー経験者の方もいて、自分のケアの答え合わせのようだったという話が印象的でした。
- ・多業種の人に参加していた。ケアマネージャーは大事になって来ている。

- ・それぞれケアラーに関わりのある機関の方がたくさんいて、色々な思いで研修にのぞまれているようでした。自己紹介で盛り上がり時間が足りな  
いくらいでした。
- ・今の実情がわかりました。
- ・児童支援、生活困窮支援、介護サービス等の多業種の方と同じ議題で話し合う事で互いにどのように感じたかを認識することが出来ました。
- ・色々な方の話をお聞きすることで新しく発見することも多かったです。
- ・普段仕事では関わらない職種、立場の人の声が聞けて良かったです。
- ・皆それぞれの視点から知恵が生まれることもあるので、周りを巻き込む必要性を実感した。自分も発信できるように頑張りたい。
- ・「自分、自分の家族を客観的に見せるために第三者の介入が必要」とのことで、私自身が誰かの力になれていればありがたいと思います。  
課題の解決は個人ではなく、「家族、社会全体で」が大切であり、一番難しいのだと改めて感じました。
- ・色々な方の考え、意見がプラスになりました。

#### ④研修全体のご意見

【参考になった：43名 どちらともいえない：1名 参考にならなかった：0名 期待した内容と異なった：1名 無回答：10名】

- ・行政の役割について改めて考えさせられました。
- ・ケアラー認知症の方への接し方、ひいては自分のこれからの人生との向き合い方を考えていきたいと考えました。
- ・短い時間だと思いますが、もう少し具体的な話をしていただけたら良かったです。
- ・当事者の話は仕事をする上で参考になりました。
- ・徐々に深い内容で理解が深まりました。
- ・当事者の体験談、とても重い内容だったにも関わらずお話していただき勉強になりました。三橋先生の奥様に対する思いが感じられました。
- ・ご本人の話がとても良かったです。ケアラーへの理解が深まりました。
- ・自治体という立場で私たちまで届きづらい、現場、当事者の声をきくことができよかったです。
- ・ケアラー当事者の話は大変参考になりました。実際の経験からくる話なので考えたり感じるころが大きかった。
- ・グループワークの時間が充実でした。
- ・家族のケアの必要性を感じました。
- ・どの立場であったとしても、それぞれが「人として」という優しい気遣いで寄り添っていけると周囲の理解度もあがるような気がしました。
- ・各講演の時間は短く感じましたが、唯一伝えたいポイントが押さえてありとても勉強になりました。

#### ⑤今後希望する研修等

- ・当事者の方の話はとてもリアリティがあり、心が動かされました。今後も当事者の方の話が大切と思います。行政の方の具体的な支援につい  
ても聞きたいです。
- ・民生委員、市の職員、医師他、多職種との研修をぜひお願いします。
- ・横須賀市ではどのようなケアラーがいて、数字はどの位あるかよか(全国比等)詳しくわかる研修があったら良いと思います。
- ・今回のように当事者の体験談はとても参考になったので、時間を延ばしてまたこの様に企画してほしい。
- ・ケアラーの声なき声をひろいあげるための方法がわかる研修があると嬉しいです。

- ・当事者の話が一番わかりやすいと思います。どういきっかけで、どのような機関に相談がつながったのか知りたいです。
- ・地域で研修会を探したけどなかったので、身近な所での開催をお願いしたいです。とても良かったです。
- ・当事者の意見を聞ける機会はあれば嬉しいです。また、ヤングケアラーに対する支援方法についてもっと知りたいです。
- ・あっという間に時間が過ぎてしまいました。もう少し時間がとれると良いと思いました。
- ・横須賀市がまず何をしているか？ ポジティブに活動している内容を知りたい。
- ・ヤングケアラーを見つけることがなかなかできません。課題と思っています。
- ・ケアラーの心の動き、どう支援したら良いかについて。
- ・支援者はとても幅広いと思いますが、ケアマネ、学校関係など細分化してテーマを絞った研修も重要な気がしました。
- ・制度だけではなく、やはり当事者の話を聞ける研修は貴重だと思います。
- ・周りはどうやったらケアラーに気づけるか。
- ・どのような経過で支援機関につながり、どういう支援を受けたか、またどういう支援が良かった等、どういう支援、関わり方としては不満があった等、支援の当事者の声を聞く機会があれば良いと思います。
- ・より難しい状況のご家庭の解決結果など伝えて欲しい。
- ・専門職研修だけでなく、地域の方と一緒に話し合いが出来る情報交換会のようなもの。
- ・学校、教育現場でケアラーについて関わってもらえる人がいたらと思いました。
- ・ケアマネや事業所他、高齢分野の方にも知ってもらいたい内容です。
- ・当事者として、支援者として、どの立場としても考えていきたいと思いました。